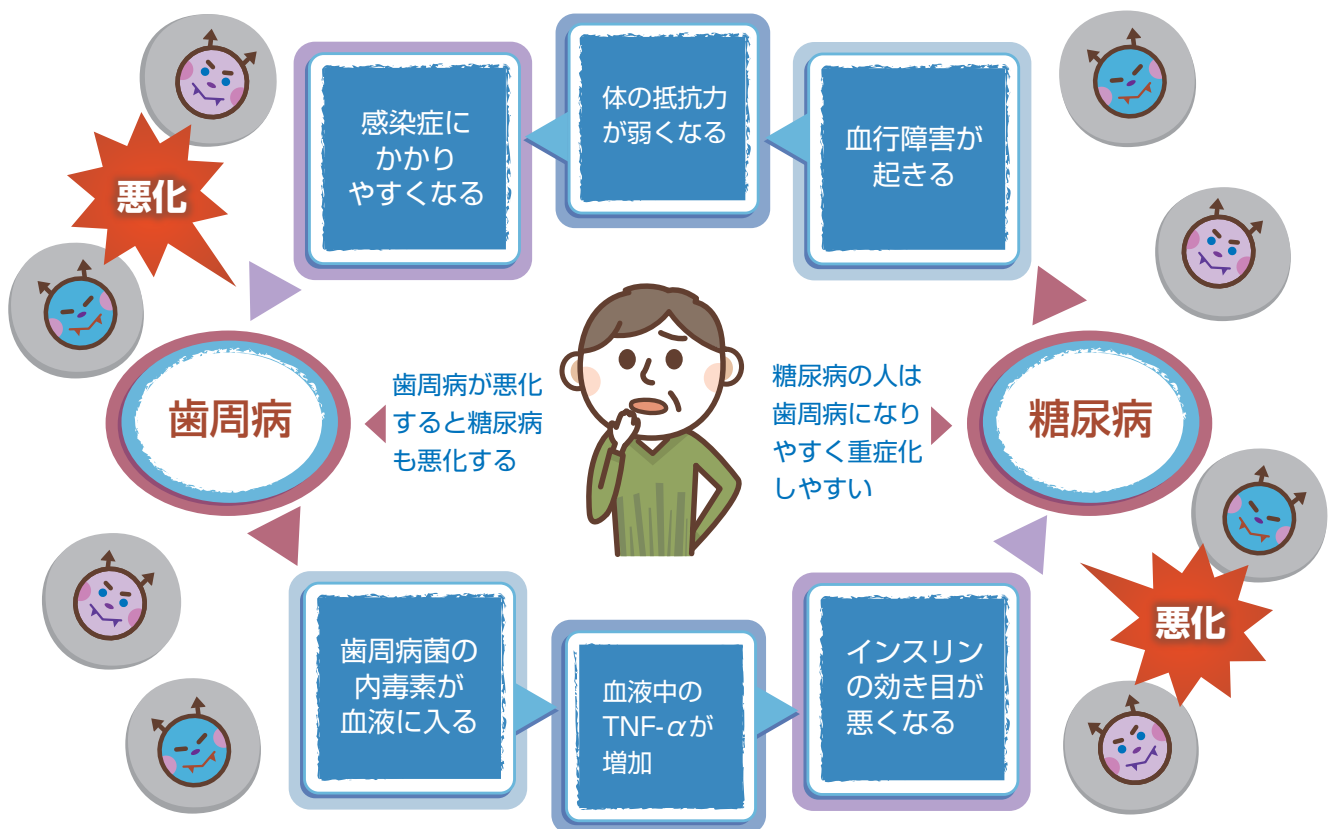


歯周病と糖尿病の関係

最近の研究では、歯周病の治療とメンテナンスが、糖尿病の血糖コントロール改善に関係することが報告されており、糖尿病（高血糖）と歯周病の間の関連性が注目されています。

糖尿病の人は、歯周病にかかりやすく重症化しやすい

糖尿病が進行し高血糖状態が続くと、体の中の防御反応が低下して感染症にかかりやすくなります。現在、成人の約8割が発症している歯周病も、細菌感染を原因とする感染症の一つです。そのため、糖尿病の人は健康な人と比べ、歯周病にかかる確率が**2倍**以上高く、重症化しやすいと言われています。



歯周病が悪化すると糖尿病も悪化する

歯周病が進行すると、歯周病菌から出される内毒素が歯肉から血管に入り込み、TNF- α （腫瘍壊死因子）という物質が分泌されます。そして、血管中のTNF- α が増加するとインスリンの働きが低下するため、血糖値が上昇してしまい糖尿病の悪化へと繋がります。

また、糖尿病の方が重度の歯周病になった場合、軽度の歯周病に比べ、2年後に糖尿病が悪化している確立が**5倍**高くなるとされており、とくに注意が必要です。

当院では糖尿病の症状がある方に対して、歯周病治療及び定期的なメンテナンスをお勧めしています